

《施策評価シートの見方》

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	郷土を担う人を育むまち
基本施策名	青少年の健全育成

	所属	職名	氏名
作成者	総務部総務課	課長	西村 康正
評価者	総務部	部長	堀内 猛志

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	『平和都市宣言事業』は、平成24年12月に、当時の小中学生や高校生から寄せられた「平和への思い」をまとめた「安曇野市平和都市宣言」を制定し、その年から中学生代表の広島平和記念式典への派遣を開始しました。28年度は広島平和記念式典への中学生代表21名の派遣と、記念式典へ参加した生徒の作文発表等を行う平和のつどいを開催しています。広島平和記念式典へ参加した中学生の平和への関心を高めることができましたが、平和のつどいは若い世代の参加者が少ない状況にあります。若い世代の平和への関心を高めるため、小中高校生の参加者を増やす必要があります。
基本方針 (目指すべき方向性)	地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	設定時	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
放課後子ども教室実施校(校・累計)	校	10	10		10	10	100	順調	生涯学習課
青少年体験型講座数及びリーダー養成講座	回	34	40		34	34	85.0	停滞	生涯学習課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	
1	0102005	平和都市宣言事業	庶務法規担当			1,638,269	2,402,000	2,227,000	6,267,269	政策的業務	継続	期限なし	拡充(現予算内)	○
合計						1,638,269	2,402,000	2,227,000	6,267,269					

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	予算は広島平和記念式典参加のための旅費が主な支出です。平和のつどいは、戦争体験者の講演から平和学習DVDの上演に変えたことにより、講師謝礼が不要になりました。市の平和推進事業はこの事業だけであり、引き続き平和推進事業を進める必要があります。
重点化事務事業の考え方	平和推進事業は重要であり、特に若い世代が「平和」への関心を持つ仕組みが必要です。次年度以降は平和のつどいへの若い世代の参加者を増やすため、小中高校の平和教育の発表の場と位置付け、小中高校生の参加を促します。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	広島平和記念式典への中学生代表の派遣により平和に対する関心を高めることが出来たことは、参加した中学生の作文にも表れています。また、平和推進事業の推進、特に若い世代に対する平和への気づきの機会が必要であり、平成29年度の平和のつどいへの参加については市内小中高校に対し参加を呼び掛けています。但し、参加校との打ち合わせ等の事前準備作業が相当増えるため、教育部、福祉部との連携・協力が不可欠となります。

① 施策指標

- ・設定時は、第1次総合計画（後期）を策定したときに設定した指標、目標値は、計画終了時である平成29年度における目標値
- ・平成26年度については、平成28年度からシステムが稼働したため入力なし

② 施策評価の進捗状況と分析

- ・施策指標を所管する課のみ記載

③ 基本施策を構成する事務事業の評価（事業費について）

- ・H28は、平成28年度の決算額、H29は、平成29年度の予算額、H30は、実施計画事業については、平成28年度作成した実施計画のH30の計画額を記載
そのため、予算事業については、H30は空欄

④ 基本施策を構成する事務事業の評価（事務事業の状況と重点化事業について）

- ・事業の妥当性・有効性・効率性を踏まえ、各事業の今後の方向性を7つの分類（「現状維持」「現状維持・事務改善」「拡充（現予算内）」「拡充（現予算内）・事務改善」「拡充（事務内容・事務費の見直し）」「抜本的改善」「縮小・廃止」から選択
- ・施策に紐づけられた事業のうち、来年度重点的に取り組む事業については、重点化に「○」を記載